

自分を大切にしていますか 周りの人を大切にしていますか



しやうごくんたいすま



すことほくがませさあ

平成18年度「ハート to ハート つながる two ハート」作品 菊川真愛さん 菊川尚悟さん

徳島県教育委員会は、すべての人の基本的人権が尊重される社会づくりをめざし、総合的な視野に立った人権教育の推進に努めています。

この資料は、人権教育がめざすものや人権を考える際の大切な概念について、日常生活の中で理解を深めていただくために作成しました。PTAの研修会をはじめ、多くの場で活用されることを願っています。

私を認めてほしい あなたの気持ちを受けとめたい



「自分さえよければ…」っていう自己中心的な考え方が強くなると、相手にいやな思いをさせたり、傷つけてしまったりすることがあるよね。」



「そうだね。それではお互いの人権を尊重していることにはならないよね。自分の権利を行使するときには、それに伴う責任っていうものがあるはずだよ。」



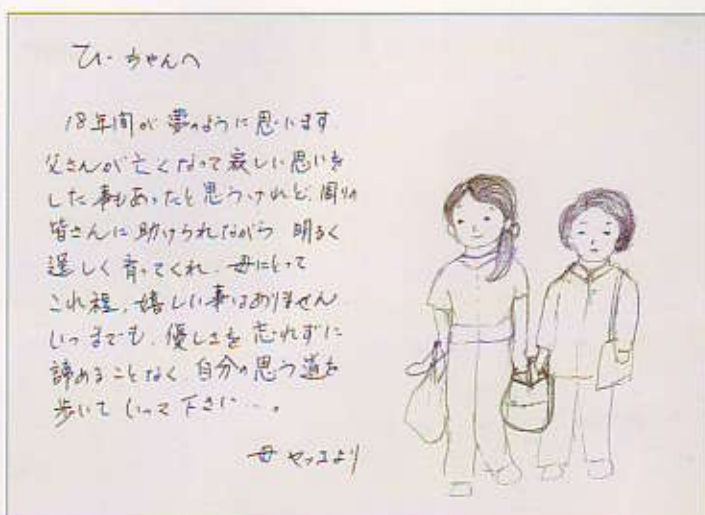
「人権が共存する社会にするためには、自分の大切さも、他の人の大切さも認めようとする気持ちが大事だと思うわ。」



「ところで、どんな時に『自分が大切にされている』って感じるの。」



「自分の考えが認められたり、周りの人に支えられたり、一人の人間として大切にされているっていう実感があるときかなあ。そんなときは周りの人にも優しくなれるよね。」



平成18年度「ハート to ハート つながる two ハート」作品 山崎明美さん 山崎恵子さん

人権の 共存

互いの利害や立場を超えて、人々がそれぞれの人権を相互に認め合い、かつ各人の人権が調和的に行使される状況にあることをいいます。

私の人権、あなたの人権



(ある日の放課後、職員室で)



「人権教育で大事なものは、人権問題を解決しようとする意欲や態度を育て、行動につなげていくことではないのかなあ。」



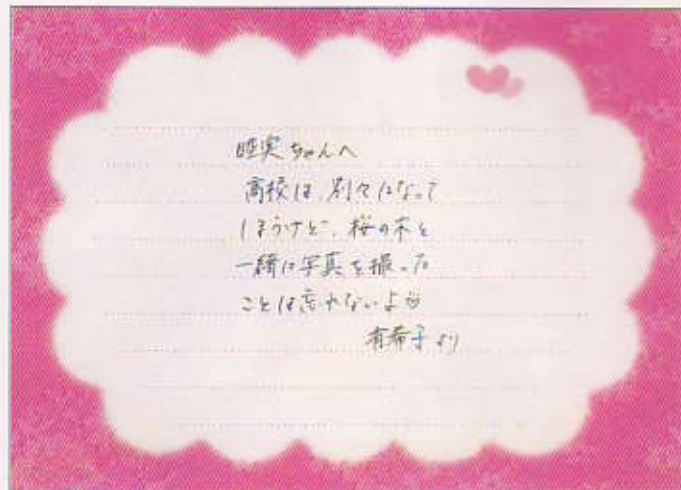
「そうね。そのためには、日常生活の中で人権上問題のあるような出来事を見抜く感性や、人権問題を自分の問題として考えていこうとする姿勢が必要だね。」



「つまり、人権感覚を磨くことが大切なんだ。そのために、学校やクラスを、人権が尊重され正義が貫かれるような環境にしたいと考えているんだ。」



「人権感覚を身につけるための効果的な手法として**体験的参加型学習**が注目されているから、参考にしてみたいわ。」



平成18年度「ハート to ハート つながる two ハート」作品 村上睦実さん 佐藤有希子さん

人権感覚

人権学習においては、人権問題を知識として学ぶとともに、人権に対する細かな配慮が態度や行動に現れるような人権感覚を磨いていくことが重要です。

体験的参加型学習

参加者一人ひとりが学習に主体的に参加し、意見交換したり調べたり発表したりすることをとおして、体験的に学んでいく学習をいいます。

かけがえのない私 かけがえのないあなた



「いじめをする人って、イライラやむしゃくしゃした気分を、弱い立場の人を攻撃することで解消しようとしているって言われているわ。」



「自分自身に自信がなくなると、将来に明るい展望が持てなくなったり、人をねたんだりする気持ちが強くなることもあるよね。」



「豊かな人間関係を築いて、人権尊重を基本に置いた行動をするためには、自分自身を大切だと思える気持ち（**自尊感情**）をもつことが大切ね。」



「自分自身をきちんと評価できれば、仕事や勉強に意欲的に取り組むことができるし、他の人の意見を聞いたり、相手を傷つけずに自分の意見を主張したりすることもできるようになるよね。」

覚えていますか？

大学に入った時、手続きしてあった電話が部屋に設置されるまで毎日届いた「お母さん」からの手紙です。

あれから26年。
私もあの時のあなたの年齢を
越えてしまいました。
時々、衝突することもあるけれど…
頼りにしています。
普段は言えないけれど
「いつもありがとう」
感謝しています。



1月に亡くなったお祖母さんのように
健康に気をつけて、私が困るくらい長生きしてください。

あれからもう26年。
あなたを下宿に置いて帰ってくる時
寂しくて…
身を切られるように辛かったこと
思い出しました。

私にとって、あなたが「宝」なのです。
言いたいことを言いあって
衝突するのは…
親子だから。

これも私の「宝物」です。
高校の修学旅行で長野から
平成5年に富士山五合目から
送ってくれた手紙です。



健康に気をつけて、あなたに迷惑をかけないよう長生きしたいと思います。
これからもよろしく！

平成18年度「ハート to ハート つながる two ハート」作品 森弥生さん 森茂美さん

自尊感情

近年、人権を考える際に、「セルフエスティーム」という概念が重要であると指摘されています。一般的には「自尊感情」「自己肯定感」「自己尊重の感情」というように訳されていますが、自分自身に肯定的な感情をもつこと、自分を価値ある存在と思う気持ちのことです。

子どもの気持ちになって考えてみましょう

子どもたちは、「私を認めてほしい」と思っています。この思いを受けとめるために、私たちは、子どもたちとどのように接していけばよいのでしょうか。

次に引用する詩は、環境によって子どもが変わることを私たちに教えてくれます。この詩を参考にして、人権尊重の精神を日常生活の中で生かしていくことについて考えてみましょう。

「子ども」

作者：ドロシー・ロー・ノルト

批判ばかりされた子どもは 非難することをおぼえる
殴られて大きくなった子どもは 力にたよることをおぼえる
笑いものにされた子どもは ものを言わずにいることをおぼえる
皮肉にさらされた子どもは 鈍い良心のもちぬしとなる
しかし、激励をうけた子どもは 自信をおぼえる
寛容にであった子どもは 忍耐をおぼえる
賞賛をうけた子どもは 評価することをおぼえる
フェアプレーを経験した子どもは 公正をおぼえる
友情を知る子どもは 親切をおぼえる
安心を経験した子どもは 信頼をおぼえる
可愛がられ抱きしめられた子どもは 世界中の愛情を感じることをおぼえる

(『あなた自身の社会—スウェーデンの中学教科書—』新評論
アーネ・リンドクウィスト/ヤン・ウェステル著、川上邦夫訳 1997年) より



子どもが「自信」をもつことができるのは、どんなときでしょうか。

.....

.....

子どもが「安心だ」と感じるのは、どんなときでしょうか。



.....

.....



子どもが心から「うれしい」と思うのは、どんなときでしょうか。

.....

.....

子どもの人権を守るために、あなたは何ができますか。

豊かにつながろう！

あなたの言葉に救われました

「あきこは悪くないよ」

あなたのその言葉で、心がすつと楽になった。

どんな私でも受け入れてくれる人がここにいる。

それが分かって私は、人生を大切に生きなければ

ならないって思えるようになりました。

「私なんて生まれなきゃよかった」

そんなこと言ってしまったこともあった。

でも今なら心からこう言える。

「生まれてきてよかった。お母さん、

私を産んでくれて本当にありがとう！」つて。

平成十七年度「心あたたまる作品・ショートレター」

高田顕子さん

おばあちゃんへ

アルバムを開けてみた。

乳母車に乗っている私。私を押すおばあちゃん。

三輪車に乗っている私。私を見守るおばあちゃん。

幸せな時間がゆっくり流れている。

二人で歩いた思い出の道。

そして今、車イスに乗っているおばあちゃん。

いつも家の中で過ごしているおばあちゃん。

今度、外に出てあの道と一緒に散歩しよう。

その時は私が押してあげるから。

平成十七年度「心あたたまる作品・ショートレター」

橋本道子さん

人権が共存する人権尊重社会を実現するため、人権教育・啓発の役割はとても重要です。

互いの立場を認め合い、豊かな人間関係を築きましょう。

人権を尊重する子どもを育てるためには、学校・家庭・地域・関係機関等が連携を図ることが大切です。より効果的な人権教育が推進できる協力体制を築きましょう。

人権教育・啓発を進めるにあたっては、国や県において、次のような方針や計画等が示されています。

【国】

人権教育の指導方法等の在り方について〔第一次とりまとめ〕【平成16年6月】

人権教育の指導方法等の在り方について〔第二次とりまとめ〕【平成18年1月】

【県】

徳島県人権教育推進方針【平成16年2月】

徳島県人権教育・啓発に関する基本計画【平成16年12月】

“あわ”人権学習ハンドブック【平成19年3月】

徳島県教育委員会人権教育課

電話 088-621-3155

ファクシミリ 088-621-2885